



4月25日（木）、5月2日（木）の2週にわたり、五所川原青年会議所の副理事長の佐々木康幸さんと奥津軽虫と火祭り委員会委員長の太沢慎司さんをお招きして講演会を行いました。地域課題を探るというテーマで「奥津軽虫と火祭り」の歴史について学びました。全国各地で数多く開催され、この五所川原でも60年という歴史があるお祭りですが、農業の衰退と担い手不足という課題があります。継承していくために、若い人が積極的に関わるのが大事であるとお話をしていました。



【学んだこと（生徒感想抜粋）】

- ・現在農業や地域社会の活性化と維持が不可欠で、農業や地域社会に深く係わる伝統行事であるため、その保存には大きな課題がある。
- ・自分が住んでいる地域の祭りを初めて知った。いろいろな祭りがあるが、起源は何かを祈るためのものだと言った。
- ・どのような祭りで、どのくらいの人たちが協力しあっているのか分かった。コロナ禍や少子化という理由で簡単に終わらせてはいけない。



【疑問に思ったこと（生徒感想抜粋）】

- ・若い世代が受けついでいくためには、どのような思いが必要なのか。
- ・参加者が減少したり規模が縮小しているのに、なぜこの祭りを続けるのか？
- ・伝統も大事だけど、もっと楽しいことをメインにしたら盛り上がるのでは？
- ・人材不足の現状で、これからも伝統を継承するために、伝統はどうあるべきか。
- ・五所川原が更に活気づくように、この祭りを通して挑戦できることはあるのか。

